

若槻自然遺産活用事業実施報告

夏の終わりの一日、故郷の眺望と山千寺周辺の自然遺産を巡りました

令和3年度事業に、平成27年度刊行した「若槻自然遺産ガイドマップ」の有効活用を促す取り組みが掲げられました。目標は「自然遺産を巡るモデルコースを複数整備」し、誰もが気軽に歩けるようにする事です。

モデルコース整備のための1回目の調査を兼ねて、令和3年度の第2回自然遺産散歩会を9月11日(土)に実施しました。コロナ感染拡大の時期でもあったので、部会員のみでの参加でした。

吉の髻山登山口駐車場を起点に旧水道道路を辿り、地藏院裏から百番観音を登り反対側の車道に下り山千寺へ。山千寺境内の「若槻自然遺産」を巡った後、吉の古墳入り口を経て髻の駐車場に戻る推定4.5kmの道のりです。主に見どころや行程ごとの所要時間、ルート状況、分岐点のわかり易さ度合いなどを確認しながら歩きました。又、自然遺産のポイントだけでなくコース途上にある名所旧跡も併せて確認し、これらは「お立ち寄りスポット」として、モデルコースの中で紹介したいと考えています。



当日、午前中は曇りで志賀の山並みは稜線部分に雲が纏わりつき、旧水道道路の魅力の一つである地藏院裏あたりから田子池を眺めた時、その背景に奥志賀の名峰岩菅山がうやうやしくそびえている姿にお目にかかることが出来なかったのは残念でしたが、山千寺境内の信玄駒つなぎの桜の、年を重ね複雑に深く刻み込まれた老幹に圧倒され、観音堂から見下ろす景観に心奪われ、柔らかいのだ越しの名水清水で喉を潤した後、古墳群を経て駐車場に戻りました。

コース中、草刈りの必要な箇所、時季によって分かりにくい踏み跡程度の箇所などコース整備上の課題を明らかにすることが出来ました。(自然環境部会)

歩いて見守るパトロール(9月分) 実施しました

折からの秋の交通安全運動実施期間中の9月22日に小学校低学年児童の下校時を対象に「歩いて見守るパトロール」を実施しました。この事業はコミわか防犯部会と若槻各地区役員様、小学校PTA様と合同で、児童が安全・安心に通学



辻立ちによる見守り状況

できる様、交通事故防止を目的に巡視・随行・危険箇所の点検等見守りを行うものです。若槻小・徳間小・湯谷小・浅川小の主に1~3年生を対象に概ね月1回程度の頻度で下校時の随行や辻立ちによる見守りを実施しています。児童からの元気な声かけや挨拶等に各役員とも逆に元気をもらっていました。車社会の当地区も身近な通学路の安全が目まぐるしく注目を浴びています。皆様にも登下校時の児童を温かく見守って頂きますようお願いいたします。



下校前の集合状況

(防犯部会)

「地域づくり講座」研修会が開催されました

10月3日(日)、福祉健康部主催でコミュニティセンターにおいて長野市地域包括ケア推進課の中西則行係長を講師にお招きし、「地域づくり講座」研修会を行いました。各地区の区長(副区長)や福祉推進委員、健康委員、民生児童委員、老人クラブ等の代表者の方々他約60名の皆様が中西講師のお話に耳を傾けました。

「支えあいの街づくり」という題目で、高齢者になっても、この町で誰もが安心して暮らせるよう、みんなで地域づくりを考えることが必要であると学びました。

コロナに負けず人と集まろう・活動しよう、というお話もありました。そこに行けば誰かと会え元気になる、



このことが認知症や要介護状態を予防し、健康寿命の延伸になるとのことです。

また、福祉健康部の各地区の活動状況について報告がありました。全体的にコロナ禍の影響を受け、活動が停滞気味でした。

この研修で学んだことを活かし、下半期はコロナ禍に負けずやっつけよう、という気持ちにさせて頂いた研修会でした。(福祉健康部)